

令和2年5月7日

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 同窓生の皆様へ

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会  
会長 佐藤 悦雄

拝啓

平素は、東京同窓会の活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

ご案内の通り、第53回東京同窓会総会・懇親会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、やむなく中止としましたが、下記事項につきましてご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

## 1. 定期総会中止に伴う議案承認(文書総会)の件

会則第10条第1項に定める毎年6月開催の定期総会は中止となりましたので、今年は会則11条に定める総会議決事項について会員2,690名に文書送付をもって審議をお願いすることといたします。

会則第12条に定める総会の議決は出席者の過半数をもって決することになっていますが、今回暫定的にご承認いただき、次回定期総会において追認いただくことに決定いたしますこと、ご了解のほどお願い申し上げます。

### 記

- 議案1 令和元年度事業報告及び決算報告 (会報「あがた」10Pをご参照下さい)
- 議案2 令和2年度事業計画及び予算案 (会報「あがた」11Pをご参照下さい)
- 議案3 令和2年度役員改選 (3Pの東京同窓会役員名簿をご参照下さい)

## 2. 母校へiPad寄贈のための寄付お願いの件

昭和61年の第19回東京同窓会総会・懇親会実行委員会から諸先輩方によって引き継がれてきた実行委員会方式は、今や東京同窓会の伝統になり、30年振りに会う同期仲間達と同窓会総会・懇親会の企画を成し遂げることで同期の絆を作り、ひいては還暦や喜寿等まで同期会を継続する力となっていることは皆様もご承知のことと思います。

今年の第53回東京同窓会総会・懇親会は高42回中田清光実行委員長を中心に同期の皆さんが準備に携わってきました。しかし、急きよ東京同窓会総会・懇親会が中止となり、心に大きな穴があいたまま実行委員会を途中で終わらざるを得ない状況になりました。

高42回実行委員の皆さんは、今年の東京同窓会総会・懇親会が中止になっても母校のために貢献したという「証」となるものを残すため、母校の生徒が授業で使える情報端末『iPad』を寄贈したいと考えております。その理由としては、本年の会報作りの一環で母校を訪問して探究科の担任の先生を取材した際、東京同窓会が推進したふるさと納税による寄付金で母校でのWi-Fi設置が実現できたが、「Wi-Fiを使って情報を調べるために使うiPadを全ての生徒が入手できるわけではないので、貸出用としてのiPadが必要」ということを聞き及んだことにあります。そこで、**母校にiPadを寄贈する購入資金としてのご寄付(一口1,000円)を本来、東京同窓会総会・懇親会を開催する日であった2020年6月13日(土)を締切として募り、高42回実行委員会の「証」にしたいと考えています。**

毎年同窓会活動への心温まる年会費、終身会費納付をお願いしている上に、誠に恐縮ですが、是非ともご理解の上、同封の「郵便払込取扱票」でご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具